

参加者募集!

守谷市グリーンカーテン発表会

●申込・問合先 市役所生活環境課
☎45・5339 ㊟45・6527
✉kankyou@city.moriya.ibarak.i.jp

CO₂削減や節電に役立つ

自慢のグリーンカーテンを育成・発表してください!

参加者には、生活環境課窓

口で種とグッズを配布(6月

16日)※数量限定します。

参加賞もあります。暑い夏を

快適に過ごしてみませんか?

○グリーンカーテン(緑のカーテン)とは:

ゴーヤ、アサガオ、ヘチマ

などツル性の植物を窓の外

にはわせ、日差しを和らげ、

室温の上昇を抑える自然

のカーテンのことです。日

射の熱エネルギーを約80%

カットするとともに、葉の

蒸散作用により周囲の温度

が下がるため、省エネ効果

を高めることができます。

▼対象 市内の家庭、学校、会社、店舗など

▼植物の種類

緑のカーテン状になるもの

(ゴーヤ、アサガオ、風船

かずら、ヘチマなどツル性の植物)

ツル性の植物)

▼応募手続

①参加申込

8月15日(金)までに窓口、

または電話・電子メール・

FAXで申し込む

※申込内容 氏名(団体名)、住所、電話番号

②実施報告

実施報告書とグリーン

カーテンの写真を9月5

日(金)までに窓口、または

郵送・電子メールで提出

する(実施報告書用紙は、

参加申込期間終了後に送

付。市ホームページから

も取得可)

*後日、市役所1階ロビーで

発表会(お名前・感想・作

品の写真を展示)を実施し

ます。展示を希望しない場

合は、実施報告書中の「展

示を希望

しない」

チェック

欄に記入

をお願いします。

します。



グリーンカーテン

国際交流員

ヨークさんの



アビ シュトライチヒ
Abi Streich!

MORIYA
滞在記

皆さんが思い浮かべるドイツの高校生像はどんなものでしょう。真面目? 個人主義的な姿ですか? 少し大人っぽいのですか? そのイメージは間違っていないと思います。今回はドイツの高校生活の最終日について取り上げ、高校生の性格について少し明らかにしてみよう。

ドイツでは、日本と異なり、入学試験制度がなく、特に人気がある高校以外は入学するのは難しくありません。でも Abitur という高校卒業の受験勉強は非常に難易度が高くなっています。三つの教科で4時間の筆記試験と、一つの教科で口述試験に受からないとい

けません。高校最後の二年間で取得した成績が全て卒業証明書に記載される最終成績に含まれ、努力し続けなければ卒業できません。努力の末にようやく高校の最終日がやってくると、当日は学校内がめちゃくちゃになります。その日はアビ・シュトライチヒの日だからです。「アビ」というのは高校卒業の略で、「シュトライチヒ」とは、ドイツ語で「いたずら」という意味になります。一体「高校卒業のいたずら」とは何でしょうか?

それは高校や校長先生の性格によって異なります。私の高校時代の先輩達は全ての教室の入り口に新聞を張るいたずらをして、ドアを開けてみたら、教室に入れないということがありました。その他にも学校の廊下や階段を通れないように風船をいっぱい入れる、先生の車にトイレットペーパーを巻くなどが人気のいたずらです。

私が通った高校の校長先生はとても厳しかったので、いたずららしいいたずらはできませんでしたが、

楽しい最終日になったことに変わりありません。例年どおり生徒と先生を校庭に集合させ、パフォーマンス、先生との競争ゲーム、スピーチなどを行いました。集合させるために、卒業生は自作の仮装姿で、大騒ぎしながら全ての教室に入り、授業を中断させ、生徒たちと先生を校庭に誘導します。そこで、先生についての話(良い先生についての褒め言葉か面白い話、人気がない先生についての皮肉か批判)もあります。その一日は、卒業生が学校を支配下に置きます。

最初の質問に戻ると、ドイツ人の高校生は真面目で大人っぽい面もありますが、春に卒業を迎えると、反体制的な雰囲気や自由を祝い、子どものように先生達に仕返しをすることもあります。

